



Serve to Change Lives

ガバナー月信

国際ロータリー第2550地区



2021-2022年度 8月号



大前神社(真岡)【国の重要文化財】

本殿は宝永4年(1707)建立され、組物の龍彫刻のほか、柱や壁の幾何学意匠の地彫りなど、随所を秀逸先駆的な手法で飾り、拝殿では、正面の向拝まわりで彫刻を多用し、屋根に千鳥破風を飾るなど、華やかな拝所空間を演出している。

Contents

ガバナーメッセージと略歴	2	新入会員紹介	12
お詫びと訂正のお願い	3	6月会員数報告	12
会員増強・拡大月間に因んで	4	2021-22年度ロータリー賞への挑戦	13
地区委員長挨拶	5	地区大会開催のご案内	14
地区クラブ会長・幹事紹介	9	地区運営委員会報告	14
ローターアクトクラブ会長・幹事紹介	11	DEI声明	15
2021-2022 地区内主要行事	11		



国際ロータリー第2550地区 2021-22年度ガバナー

石田 順一 (真岡ロータリークラブ)

氏名 石田 順一(いしだ じゅんいち)66歳

経歴

所属 真岡ロータリークラブ

生年月日 1955年3月30日

現住所 〒321-4326真岡市島33番地

携帯番号 090-3244-5526

同居家族 妻 幸子(さちこ)67歳

母 キミ子90歳

職業 株式会社 大原葬祭会館

役職 代表取締役

会社住所 〒321-4331真岡市白布ヶ丘22-12

電話番号 0285-83-4111

F A X 0285-83-4113

E-mail oohara@basil.ocn.ne.jp

職業分類 葬祭業

学歴・職歴

1973年3月 真岡北陵高等学校卒

1992年7月 (株)大原葬祭会館 代表取締役就任

ロータリー歴

1996年3月7日 真岡ロータリークラブ入会

2007年6月22日 姉妹クラブ(台湾 斗六RC)より

13代 親善大使受称

2007年～2008年 クラブ幹事

2008年～2011年 地区青少年交換委員

2012年～2013年 クラブ会長

2018年～2019年 ガバナー補佐

その他

ポール・ハリス・フェロー

米山功労者マルチプル4回

マルチプル・ポールハリス・フェロー3回

ベネファクター

会員増強、新クラブ結成推進 月間に寄せて

早いもので、新年度に入り1ヶ月がたちました。7月20日から始めました公式訪問も、会員の皆様のご理解とご協力の下、着々とこなしております。

COVID-19のワクチン接種も着々と進んでいるようですし、接種者が増えれば増えただけコロナ禍も落ち着くとも言われています。

さて、今月は、会員増強、新クラブ結成推進月間です。今年度のRI会長のシェカール・メータさんは、テーマ講演の中で、「2022年7月までに、世界の会員数を120万人から130万人に増やし会員基盤を広げる目標をもつことです」と述べています。やはり、クラブの成長と変革も伴っての「会員拡大」であるべきとだと考えます。

私たちロータリアンが正しく活動を理解し、実践すること、そして、きめ細やかな会員への対応を個別に行うことが、会員増強と退会防止につながるような気がします。

我々ロータリアンはスポンサーになる権利があります。ロータリアンとしてのブランドを持ち、立派な地域のリーダーとしての責任を感じながら、地域社会で活躍することで自信を持って新入会員を推薦できます。是非、メータRI会長の目標でもあります「each one, bring one」(みんなが一人を入会させよう)を念頭に、未来の素晴らしいロータリアンを探すように心がけましょう。

RIが認めているクラブのモデルは、1. 従来型ロータリークラブ
2. ローターアクトクラブ 3. 衛星クラブ 4. Eクラブ 5. パスポートクラブ 6. 法人クラブ 7. 活動分野に基づくクラブ 8. 学友中心のクラブ 等々があり、1から4まではよく聞く種類のクラブではないでしょうか。

設立クラブの多様性からまだまだ伸びる余地があるような気がします。

お詫びと訂正のお願い

月信7月号、P14・Ⅱ基金・協力金予算書中、1年交換学生事業が中止となったため、赤文字の部分の誤って掲載してしまいました。下記のとおり訂正させていただきます。月信担当者の不手際お詫び申し上げます。

(Ⅰ)地区資金予算書 (Ⅱ)基金・協力金予算書 (Ⅲ)危機管理等特定基金

I 地区資金予算書

収入の部 ★新設のもの 基準会員数 1,750名 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
地区資金受入	14,350,000	ロータリアン:8,200円×1,750名
雑収入	500	
当年度収入合計	14,350,500	前年度実績より
前年度繰越金	13,069,384	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	27,419,884	

支出の部

科 目	金 額	備 考
<委員会活動費>		
地区研修委員会	30,000	会議費・研修会費
公共イメージ委員会	30,000	〃
クラブ奉仕委員会	80,000	〃
職業奉仕委員会	30,000	〃
社会奉仕委員会	30,000	〃
国際奉仕委員会	30,000	〃
青少年奉仕委員会	100,000	〃
ロータリー財団委員会	250,000	〃
米山記念奨学会委員会	100,000	〃
★ローターアクト委員会 注①	400,000	〃
ロータリーの友委員	30,000	〃
国際大会参加推進委員会	10,000	〃
地区運営委員会	250,000	〃
諮問委員会	300,000	〃
指名委員会	10,000	〃
地区会合	500,000	〃
ソーシャルメディア委員会活動費	175,000	〃、ホームページ管
ガバナー補佐会議費	120,000	理料
R L I 委員会	450,000	〃
戦略計画委員会	30,000	会場費、資料代
小 計	2,955,000	会議費

科 目	金 額	備 考
<補 助 金>		
地区大会	750,000	
地区研修・協議会	1,300,000	
次期地区委員研修会	700,000	
次期会長研修会	1,000,000	
I M	500,000	50,000×10グループ
会長、幹事会	200,000	
ガバナーエレクト国際協議会旅費	1,100,000	
ガバナー補佐活動費	1,200,000	25,000円×48RC
親善活動費	400,000	
拡大・増強活動費	400,000	新クラブ、インターアクト、ローターアクト
広報活動費	150,000	
小 計	7,700,000	
<納付金その他>		
ロータリー文庫運営費	525,000	1名300円の制(上期150円 下期150円)
全国ガバナー会費	376,250	1名215円の制(上期100円 下期115円)
R I J Y E M維持協力金 注②	350,000	1名200円の制(上期100円 下期100円)
R I J Y E M賠償責任保険料	200,000	I A、R A、R Y L A、賠償責任保険料
ロータリー研究会分担金	750,000	
旅 費	500,000	
登 録 料	600,000	
監 査 費	40,000	
年次報告書作成費	200,000	
雑 費	144,250	
小 計	3,685,500	
<予 備 費>		
当年度支出合計	14,350,500	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
次年度繰越金	13,069,384	
合 計	27,419,884	

注①ローターアクト委員会が新設されました。

注②R I J Y E Mとは、一般社団法人国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構の略。

II 基金・協力金予算書

収入の部 基準会員数 1,750名 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
ガバナー月信購読料	3,500,000	1人当たり金額 2,000円×1,750名
地区大会分担金	17,500,000	〃 10,000円×1,750名
ガバナー事務所協力金	9,887,500	〃 5,650円×1,750名
ガバナーエレクト協力金	875,000	〃 500円×1,750名
青少年奉仕基金	5,950,000	〃 3,400円×1,750名
ロータリー財団学友基金	87,500	〃 50円×1,750名
★規定審議会協力金	875,000	〃 500円×1,750名
当年度収入合計	38,675,000	〃 22,100円×1,750名
前年度繰越金	29,840,460	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	68,515,460	

支出の部

科 目	金 額	備 考
ガバナー月信購読料	3,500,000	
地区大会分担金	17,500,000	
ガバナー事務所協力金	9,887,500	
ガバナーエレクト協力金	875,000	
青少年奉仕基金(注③注④)	5,950,000	青少年交換、I A C、R Y L A
ロータリー財団学友基金	87,500	
★規定審議会協力金(注⑤)	875,000	3年毎にシカゴで規定審議会が開催
当年度支出合計	38,675,000	
次年度繰越金	29,840,460	前年度中間決算の繰越金です。前年度決算の繰越金に置き換わります。
合 計	68,515,460	

注③: 青少年奉仕基金の中には、今年度コロナ禍の為に1年交換学生事業の中止により、青少年交換受入クラブへの1年交換助成金(5名×800,000円=4,000,000円)は含まれておりません。

注④: ローターアクトクラブが当年度より自主運営となり、研修会等助成金約50万円が削減されます。

注⑤: 当年度は3年毎にシカゴで開催される規定審議会参加の為に渡航費となります。

森本年度 ★会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金 8,100円 + 基金・協力金 24,200円 = 32,300円

森本年度 コロナ対応変更後 ★会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金 8,100円 + 基金・協力金 14,900円 = 23,000円

石田年度 ★会員一人当たり負担金額(年間) 地区資金 8,200円 + 基金・協力金 22,100円 = 30,300円

III 危機管理等特定基金

危機管理等特定基金とは、青少年交換・VTT等に於ける不慮の事故及び震災・地区事務所移設・地区資金が不足した場合の基金です。

収入の部 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
前年度より	20,017,088	定期預金
雑収入	1,000	利息
合 計	20,018,088	

支出の部

科 目	金 額	備 考
次年度繰越金	20,018,088	
合 計	20,018,088	



会員増強月間に因んで

会員組織委員会 委員長

内山 浩志 (宇都宮陽南RC)

前年度に引き続き、2021～2022年度2550地区 会員組織委員会の委員長を務めさせていただきます、宇都宮陽南ロータリークラブ所属、内山浩志と申します。1年間宜しく願い致します。

はじめに、2021～2022年度国際ロータリー会長シェカール・メータ氏のテーマ講演の中で、「会員を増やし、ロータリー参加者基盤を拡げ世界に奉仕し、ロータリーとしてのインパクトをもたらす」という目標があります。そしてその目標におきまして、会員増強は引き続き最重要課題であります。過去17年以上の間、世界のロータリー会員数は120万人と横ばいで、2022年7月末までに世界の会員数を130万人まで増員し、今後17ヶ月間で1人の会員が1人の新入会員を入会させる事を全てのロータリアンにお願いすると提言しています。

さらに、2021～2022年度石田順一ガバナーは「会員増強のために参加者の基盤を拡充し、各クラブ純増2名、退会者を出さない」ということを目標に掲げております。

しかしながら、毎年6月は退会者が多い月となっており、2020年7月1日時点の会員数は1703名、2021年4月末時点では1705名うち女性会員109名で増減2名プラスでした。また、入会1年～3年未満の退会者が多いことも大きな課題であり、各クラブ様には退会防止策と会員維持・増強をお願い申し上げます。

近年、様々な地区で女性会員の増員が目立ち、女性会員のパワーはロータリーにとって大きな役割を果たしております。また女性会員が所属することにより、クラブ内の雰囲気も明るく華やかになり、ロータリー活動も活気で満ち溢れると思います。女性会員が所属するクラブ様におきましては、女性会員増強の担当を決め、女性目線でアプローチしていくのも方法の一つだと考えます。さらに若年層の入会推進も皆様のクラブにとって活性化できるチャンスだとも考えます。

さて、全国ロータリーアンケート調査の中に「ロータリークラブ入会を勧めたことがありますか。」という質問があります。結果と致しまして、「ある」と答えた方が全体の40%に対し、「ない」と答えた方が全体の60%でした。会員がいなければクラブの運営は困難を極めてまいります。そこで自分がロータリーに入会した頃の事を思い出し、年齢層はどうか、会員増強は地区単位ではなくクラブ単位でやるものなのか、クラブ内の職業分類の見直しをしたらどうかなどを考えました。入会のお誘いをしてもすぐに入会というのはなかなか難しいと思います。なかには入会までに数年かかるケースもあり、根気と日頃のレポートフォローや情報発信が必要であり、入会して頂くためには、入会するメリットであるロータリーの価値、ステータスを訴求していくことも大切だと思います。また、自分が現在所属しているクラブに

誇りと自信を持つということが入会を勧める一番のポイントとなるでしょう。

そして現在直面している問題は退会防止になります。コロナ禍ではありますが、何としてでも食い止めた一心です。

ロータリーによる退会調査の中の入会1年～2年の退会理由で多かったのは、①クラブの雰囲気や溶け込めなかった。②期待したほどの親睦を図れなかった。③多忙で出席規定が守れなかった。の三点でした。対策としまして、①会員一人一人が関心の持てる活動や委員会に参加出来るようにする。②クラブの親睦や活動を活性化させるためのアイデアを会員から募る。③青少年交換学生や米山奨学生との連絡役やカウンセラーに指名する。④クラブ内で入会1年～2年の会員に各々メンターをつけ、メンターとの相性が合っているかどうかを定期的に確認し、会員がメンターの交代を望む場合や交代が必要と判断した場合は交代する。以上四点が挙げられます。

次に入会后3年～5年の退会理由で多かったのは、①期待するほどの親睦がなかった。②クラブのリーダーに不満を感じた。③多忙で出席規定が守れなかった。の三点でした。対策としまして、①役員・メンター・地区活動などへの参加を促し、リーダーの役割を担う機会を与え、クラブへの貢献や皆から重視され運営に関わっていることの実感をしてもらう。②会員の意欲向上をし、例会や活動の活性化を図るため、新しい試みを取り入れ現会員の教育プログラムを実施する。③クラブを改善していくためのアイデアを会員から募る。④会員が自分の専門知識やスキルを活用できる機会を設け、その貢献を認めていく。以上四点が挙げられます。

そして新会員勧誘の際に絶対には言ってはいけない言葉があるそうです。それは、「自分は今、クラブの会員増強の担当をしているが、うちのクラブは会員数が少なく困っている。入会してくれば増強担当として目標達成できるのだが、なんとか協力してくれないか。」などのネガティブなイメージを与えてしまう言葉です。この論法では到底人の心の説得をすることは出来ません。一番良いのは自分自身がロータリーモーメントの具体例とともに話すことが大切と言われております。

最後に今年度、会員組織委員会は5名でスタートします。コロナ禍ではありますが、各クラブ様より依頼があれば会員増強のための卓話に伺わせて頂きたいと思っております。この1年間皆様のクラブの会員増強をサポートしていきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

地区委員長挨拶



RLI (ロータリーリーダーシップ研究会)委員会

委員長 中谷 研一(足利東RC)

今年度地区RLI委員長を仰せつかっています足利東RCの中谷研一です。

最初に、簡単にRLIの歴史と背景についてお話します。RLIは、1992年アメリカ第7510地区で元RI理事を務められたデビット・リネット氏の発案で始められた研修組織です。RLIの理念は「質の高いリーダーシップの研修を通じ、受講された会員がそれぞれのクラブに戻り、クラブを活性化すること」です。

次に研修についてお話をしますと、RLIの特徴の一つはその研修方法です。RLIでは、日本ではまだなじみが薄い「Active Study (全員参加型研修方式)」が取り入れられています。これはディスカッションの中に正解を求めるものではなく、参加者がそれぞれの項目について考え、自分の考えを表明すると共に、他の参加者の考えを受け止め、受講後参加者が自ら研鑽を深めていく方法です。RLIの研修内容は、基本編と卒後セミナーから構成されています。研修修了後、参加された皆さんが、積極的にクラブ活動に参加し、クラブの活性化やロータリーの発展に貢献されることが期待されています。

現在の地区の活動状況をお話します。昨年度より続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、in personでの研修が実施できませんでした。今後さらにコロナ禍が続くようであれば、少人数によるオンライン研修もRLI開催するには必要と委員会では考えており、今後の感染症の動向によりRLIの開催方法を検討しています。今後の詳細が決定次第、改めて皆様へ開催要項をお知らせ致します。

会長・幹事ははじめ多くの皆さんと共に、クラブや地区を超え語り合い、友情を深めましょう。皆さんのご参加をお待ちしております。

クラブを超え、楽しくロータリーを語り親睦を深めましょう!!

(RLI研修内容)

パートⅠテーマ:ロータリアンとしての私 パートⅡテーマ:私たちのクラブ パートⅢテーマ:私のロータリーの旅



クラブ奉仕委員会

委員長 橋本 徳雄(栃木南RC)

昨年1月からの一年半、コロナ禍の中でロータリー活動は大きく制限されてきました。社会活動全般が制限される中では止む無き事であったと思います。地区行事の多くも中止や、会場開催をやめてオンライン開催となりました。それぞれのRCでも例会そのものが開けないクラブもありました。… 例会が開けなくては「元気なクラブ」どころの話ではありません。しかし、それでも多くのクラブが、形を変えて工夫して活動してきたのがこの一年でした。

活動自粛に伴い余った資金を、多くのクラブで、コロナ感染症予防グッズの寄付や、医療関係者、子ども食堂への寄付等様々な社会貢献に活かしました。

学ぶ事も多くありました。直に会う事で親密度は増しますし、目に見えないコミュニケーション効果があると感じますが、Zoom会議に参加してみると、「Webでも充分」、わざわざ時間を掛けて地区のセミナー室に向かなくてもよいという利便性もありました。会議ならZoomというのは今後も選択肢だと思います。

クラブ例会については単に中止という事ではなく、各クラブで、対策を立てて、この状況下での例会開催に工夫がなされました。大勢が一堂に会しての食事がロータリーのスタイルでしたが、飲食施設の分散利用や、例会場の席配置を円卓からスクール形式への転換、距離の確保等々出来得る形での三密対策をした上での例会開催です。こうした例会の工夫に関する情報提供も、地区のクラブ奉仕委員会の役割と思っています。

ようやく光明が見えて来ました。感染予防のワクチン投与が始まり、状況は劇的に改善されるものと期待しています。ロータリアンの皆様、元気を取り戻してR活動に向かいましょう。

地区クラブ奉仕部門の各委員会をご活用ください。

クラブ強化・活性化、魅力あふれるクラブ作りを目標に、ロータリー情報委員会・会員組織委員会・クラブ例会プログラム委員会から構成されています。具体的には…

*ロータリー情報委員会

ロータリーの理念、目的、歴史、奉仕活動などの情報、RIの方針や強調事項等の情報提供

*会員組織委員会

会員増強の為にセミナー開催や増強、維持の為に情報提供、出前卓話

*クラブ例会プログラム委員会

各クラブの例会を魅力的で実りあるものとする事で、クラブの充実、退会防止に寄与する事を目的として、地区内例会のテーマ分析や例会プログラム内容取り纏めなどの情報提供をしています。

どうぞこの3委員会から発信・提供する情報やセミナーをご活用いただき、クラブの基盤強化や例会の充実、会員の退会防止につながることを期待いたします。ロータリーの歴史等への会員への関心の向上や理解促進にも努めていただきたく思います。

新入会員セミナー9.12について

クラブ奉仕部門セミナー主催の、新入会員セミナーを9月12日(日)に予定してあります。演題は「奉仕の理念による実践経営;サーバント・リーダーシップを目指して」です。後日ご案内を致しますので是非ご参加下さい。

SNSとHP;会員勧誘ツールとしての活用

森本敬三パストガバナーが力を入れましたソーシャルメディアを会員増強に活用する事について、ソーシャルメディア委員会からのセミナー等有効な発信があります。対面で向うの勧誘が難しい状況下で、こうしたメディアの活用は有効な方法です。是非皆様のクラブでも取り組んでみて下さい。

若い人へのアプローチとしてはSNS、比較的年配者にはHPが有効。「ソーシャルメディアを活用してクラブの雰囲気や楽しさを知っていただき、会員獲得」という活動の楽しさや雰囲気は確かにSNS向きかと思えます。

各クラブにもこのテーマに関心を払い、自クラブのHPを会員獲得のツールとして充実させ有効活用を図って頂ければと思います。

以上、石田順一ガバナー年度、クラブ奉仕部門各委員会を宜しくお願い致します。

地区委員長挨拶



職業奉仕(Vocational Service)委員会

委員長 瀬野 公男(小山南RC)

職業奉仕委員長を仰せつかりました瀬野です。所属クラブは小山南クラブです。石田G年度の委員会の方針については、石田ガバナーが地区の委員会共通方針として、5つの項目をご提示頂き、そして、委員会毎の部門別にも方向性をご提案下さいました。当委員会には、『四つのテスト』を会員に強調するようにと、方針を示されました。奇しくも、これは、片柳前委員長の下期の委員会方針と同じでございます。石田ガバナー年度もご提案を頂きました地区委員会共通方針を踏まえ、『四つのテスト』を重点事項に位置づけをし、コロナ禍でどれだけの活動が出来るかわかりませんが、石田順一ガバナー、伊東永峯カウンセラーや片柳ガバナー補佐にご指導を頂き、新任の委員さんを含め7名で協議しながら活動してまいります。宜しくお願い致します。方針として3つを考えております。

<今年度(石田ガバナー年度)の地区職業奉仕委員会の年間活動方針予定>

1. 「四つのテストのアンケート調査」

- ・片柳前委員長が提案している調査の引継ぎ。クラブ及びクラブ会員単独での具体例を提示してもら
- ・クラブへの卓話訪問(アンケート集計後) ・ガバナー補佐が召集する会長・幹事会へ参加して提案・情報交換

2. 「職業奉仕研究セミナー」

- ・中止延期になっている、対面セミナーの実施に向けての検討。 ・講師は、鈴木バスターガバナーに再度依頼予定です。

3. 他地区の職業奉仕委員会との情報交換

※活動については、オンライン・リモート・ハイブリットも含めますが、出来れば対面が理想ですので方法を委員会で模索したいと思っています。



社会奉仕委員会

委員長 青山 敏朗(佐野RC)

社会奉仕委員長を務めさせていただきます佐野ロータリークラブの青山敏朗と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度の社会奉仕活動の中心となるのは昨年に引き続き新型コロナウイルスに関係する活動になるかと思えます。コロナ禍にあってはロータリー活動の中でも最も期待されるのが社会奉仕ではないでしょうか。この春、森本バスターガバナーが医療従事者に対する支援を皆様にお願ひしました、顕著な社会奉仕の一例です。この世情です、支援先は沢山あり、そしてその支援は財政あるいは物品の支援が最も有効と思われれます。クラブ活動が制限される中、社会奉仕への予算配分はどのクラブも増えていることでしょう。また、ロータリー財団の地区補助金を利用することや、単一クラブで無理があるならグループ全体での支援も良いかも知れませんが、どうか積極的な支援活動をお願いします。

また、社会奉仕委員会はこの数年、子どもの貧困支援を各ロータリークラブへお願いして参りました。2020年現在、子どもの相対的貧困率は13.5%(7人に1人)で、夫婦+子の世帯の貧困率は10.7%ですが、ひとり親世帯は48.1%と非常に高い水準になります。更にコロナの影響で事態が悪化していることは容易に想像できます。日本政府もこの問題にようやく関心を向けつつありますが、ロータリーは今まで以上に継続した強い関りをお願いしたいものです。

今、RIは公共イメージの向上を盛んに求めています。当委員会はクラブが行った社会奉仕活動は新聞、SNS、地元ケーブルテレビ等、メディアへアクセスするようお願いして参りましたが、この数年、以前に増してその頻度が多くなり大変嬉しく思っています。ロータリーの認知度の向上はもちろんです。が会員増強にも役立つものと考えています。

今後、社会がどのように変化するか分かりませんが、ロータリー活動で社会が少しでも明るくなるよう皆さんと努力しましょう。



国際奉仕委員会

委員長 川嶋 健市(壬生RC)

2021-22年度地区国際奉仕委員長を務めさせていただきます壬生ロータリークラブの川嶋健市と申します。どうぞよろしくお願い致します。

第2550地区各クラブの国際奉仕活動について一昨年度からアンケートを実施させて頂いておりますが、グローバル補助金プロジェクト(医療支援・緊急避難所の衛生改善・識字率向上)や姉妹クラブ・友好クラブとの交流、交換留学生の受入と派遣、アジア諸国での車椅子や図書・生活雑貨の寄贈、歯科検診、災害への義援金、市町村国際交流協会活動への協賛、国際奉仕についての卓話など多岐にわたっておりますが、クラブの事情によっては海外での奉仕活動まで踏み出せない場合もあろうかと存じます。

新型コロナウイルスの影響により国際大会が2年続けてオンライン大会となり、また海外に渡っての国際奉仕活動の実施もまだまだ困難かと存じますが、地区内のクラブの国際奉仕の取組みの情報をできるだけ集めて共有化し、コロナ後の活動に向けた準備期間として、引き続き情報提供をしていきたいと考えていますので、よろしくお願い致します。

活動計画

- ①国際奉仕活動についてのアンケートを実施し、国際奉仕活動の実施状況の調査と要望をとりまとめ、必要なサポートを行なっていきたくて考えています。
- ②タイ、フィリピン、台湾 各国の地区ガバナーが推奨する奉仕プロジェクト、交流などの情報を随時クラブへ提供していきます。(昨年度はタイ国第3350地区クラブからのグローバル補助金事業の要請を第6グループにて実施)
- ③クラブ国際奉仕委員長研修会を開催し、各クラブの国際奉仕活動情報の共有化を図っていきます。
- ④クラブからの要請に応じて国際奉仕活動に関する卓話を実施いたしますので、卓話依頼をお願いいたします。(コロナ禍が一段落した後)
- ⑤地区国際奉仕委員会・研修を実施し、委員相互の情報の共有化を図っていきます。

地区国際奉仕委員会は各クラブの皆様のサポート役ですので、是非ご活用頂きますようよろしくお願い致します。

地区委員長挨拶



ロータリー財団委員会

委員長 森本 敬三(大田原中央RC)

今年度ロータリー財団部門委員長を拝命しました森本敬三と申します。

1年間一生懸命努めて参りたいと思います。ご指導とお力添えを賜ります様宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年3月11日にWHOより新型コロナウイルス感染症のパンデミック宣言が出され、その後もコロナ禍に於いて暗いニュースが続いておりましたが、その最中の8月26日にWHOより1つうれしいニュースが飛び込んでまいりました。私たちが85年から本格的に取組んでまいりましたポリオ根絶活動によりナイジェリアでの野生株のポリオ根絶が正式に発表されました。風土病と化していたポリオ野生株がアフリカ大陸で根絶されたのです。

35年もの永きにわたるロータリアンの活動が実を結んだのだと思います。

残すのはあと2か国(アフガニスタン、パキスタン)です。引き続き、ポリオ根絶へのご支援宜しくお願いします。

さて、今日まで続くコロナ禍にあって今年度よりロータリー財団は3つの大きな変化があります。その1つは、財団が取組んできました6つの重点分野に環境保全が新たに加わり7つの重点分野になります。2つ目は、グローバル補助金へのWFからの上乘せが従来は100%でしたが80%になる事です。3つ目は、年次基金(シェア)寄付の5%が運営費としてWF、DDFから均等に差し引かれます。これら2つ目と3つ目は財団の活動がパンデミック化にあってでも活発に行われた結果と思います。今年度も皆様へのお願いは、財団への資金支援です。以下の目標となります。ご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

目標は、年次寄付にお1人 150ドル ポリオ根絶にお1人 30ドル

ポール・ハリスソサエティー会員の純増20名(計88名) ロータリーカードの普及促進(ゼロ枚クラブ30クラブの削減)



公共イメージ委員会

委員長 田原 聖(宇都宮東RC)

昨年度に続き、2021~2022年度公共イメージ委員長を仰せつかることになりました宇都宮東ロータリークラブの田原聖です。

シェカール・メータRI会長は「奉仕しようみんなの人生を豊かにするために」というテーマを発表されました。「奉仕は誰かの人生だけではなく、自分の人生も豊かにする」と力説され、人びとのために奉仕し、その人生を豊かにするために援助して欲しいとお話になっております。また、ロータリーの重点事業の一つとして、ロータリーの活動を世界に知らせる「ロータリー奉仕デー」を実施し、ロータリーの活動を世界に示し、ロータリアン一人一人がロータリーのブランド大使となるよう奨励されております。

また、石田ガバナーが掲げられた公共イメージ向上に関する地区目標を達成できるよう地区内クラブの皆様と協力し、より地域社会でロータリーの認知度を高められるよう活動して参ります。コロナ渦の中ですが、地区を挙げて「公共イメージ向上」に取り組み、その意識を高めるため、講師を招いたセミナーを開催し、各クラブの公共イメージ委員長と共に学ぶ場を設定します。

さて、『世界を変える行動人』である私たちの使命は、ビジョン声明にあるように、「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で持続可能なより変化を生むために行動すること」です。では、「私たち」とはだれを指すのでしょうか。まず、ロータリアンです。それだけでしょいか？そこにはローターアクターを始め、インターアクター、ロータリーの奨学生や学友といったロータリーファミリーのみなさんの存在があります。地域社会の方々もいます。そしてロータリアンの家族の方々もいます。「私たち」の幅が広がれば広がるほど、手を取り合って、共に行動する仲間が増えます。

皆様のクラブで行っている奉仕活動の中に、あるいはこれから取り組もうとしている奉仕活動に、地域の人々やロータリーファミリーを巻き込んで一緒に活動できるものがないでしょうか。ロータリーの活動に参加して、手を取り合って一緒に行動してみることが、ロータリーを知り、理解して頂く何よりの機会になるように思います。おそらくこれがロータリーの公共イメージ向上への一番の近道と言えるかもしれません。その結果として、ロータリアンの仲間が増えていき、奉仕の扉は私たちの前にさらに大きく開かれるでしょう。



ソーシャルメディア並びにIT推進委員会

委員長 武田 文夫(宇都宮さつきRC)

今期のガバナー方針であるIT活用の推進を支援してまいります。「クラブセントラル」の登録は、ロータリー賞の受賞に必須であり、クラブの中長期計画を実現するために不可欠なものです。「クラブセントラル」は、目標と進捗の管理をクラブ会員で共有できます。会員は「My Rotary」を通して、リアルタイムで進捗の共有が可能となり会員の自律的な参加を促します。さらに、今期のガバナー方針である、「My Rotary」への登録70%目標達成のために、新たな取り組みを実践いたします。

また、会員増強活動を促進するためには、各ロータリークラブの活動を広く一般の方々へ知っていただく必要があります。そのためには、インターネットを活用した情報拡散が有効です。特に、ソーシャルメディアを活用することでロータリアンの充実したネットワークによる口コミ拡散が期待できるため、最適な告知方法となりえます。各ロータリークラブの情報発信の起点となるWEBサイト、または、face bookページを開設いただくことで、口コミのベースになります。若者や女性の会員獲得につながるソーシャルメディア活用も進め、公共イメージ委員会と共に、各クラブのブランディングをご支援させていただきます。

<本年度の目標及び活動について>

[目標]各クラブの効率的運営のためのIT活用をご支援いたします。

[活動計画]

1. クラブセントラルおよびMy Rotaryの活用促進支援

国際ロータリーが提供する「クラブセントラル」の全クラブ登録を促進し、「My Rotary」の会員アカウント登録70%以上を目指します。

2. 各クラブのブランディングのご支援

各クラブのホームページまたはface bookページの立ち上げ、ソーシャルメディアの運用方法に関する情報提供を通して、各クラブのブランディングのご支援させていただきます。

地区委員長挨拶



米山記念奨学会委員会

委員長 長 正英(宇都宮陽北RC)

米山記念奨学会活動は、海外からの優秀な留学生を受け入れ奨学金を支給すると共に、奨学生に日本文化の理解を促し、私達も海外の文化に接することで交流を図り、ひいては世界平和を求める全世界に誇れる国際奉仕事業であります。そしていつまでも交流を続けられるよう絆を大切にしております。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で、例年通りの活動が制限され、奨学生にとっても私たちにとても受難の年でした。今年は、新奨学生オリエンテーションも予定通り4月に開催できました。まだまだ、コロナ禍で安心できませんが、感染に十分注意して活動していきたいと思っております。

今年度も昨年同様、例会における卓話などを通し、奨学生と会員との交流の機会を増やしていきたいと思っております。卓話のご依頼は、米山地区委員あるいは、ガバナー事務所へお願いいたします。

また、学友会活動もフラダンスチームをはじめ、さらに活発化させ、元気なロータリーへの協力を推進してまいります。また、一昨年度より始めさせていただきましたサブ世話クラブ制度を定着させていきたいと考えております。

奨学会は、会員皆様の寄付金ですべて賄っております。寄付金の増額により、奨学生の採用枠の拡大が期待できます。将来性のある若者のために、未来への投資とお考えいただき是非ご寄付をお願いいたします。

今年も23名と大変多くの奨学生をお世話する年になります。米山奨学生は、日本に留学する勇気を持ち、そして学内選考により選ばれた大変優秀な熱い学生たちです。未来を担う世界の若者たちに力をお貸しいただけると幸いです。

米山委員会では、米山奨学会活動をさらに活性化していきたいと考えておりますので、年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



青少年奉仕委員長

委員長 二十二 修(宇都宮北RC)

2021-22年度地区青少年奉仕委員長を務めさせて頂く事となりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当地区の青少年奉仕委員会は、インターアクト、ロータリー青少年指導者育成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換の3委員会で構成されています。昨年度まで青少年奉仕委員会の1部門であったローターアクトは、今年度よりロータリーが指導育成するプログラムから、ロータリーとともに奉仕する真のパートナーとその立ち位置を変え、青少年育成プログラムより巣立って行きました。従って今年度からは先に申し上げた3つの部門委員会で活動してまいります。

すべての青少年奉仕各部門委員会の目的は、「将来、地域社会および世界のリーダーとなる青少年を育成する」事にあります。委員会としましては、各クラブのこの目的に向けての積極的活動をご支援してまいりたいと思っております。

また、これら3つのプログラムは、RIの常設プログラムであり、その枠組みと指針はRI理事会より示されております。特に昨今、青少年を災害や事件・事故から守るため細心の注意を払うよう強く要請されております。地区員会といたしましては、これら指針を遵守し、青少年奉仕各プログラムの更なる活性化に寄与して参りたいと思っております。会員の皆様におかれましても、「青少年と接する際の行動規範に関する声明*」をご理解いただくとともに地区ホームページに記載の「青少年保護の手引き」をご一読いただきますようお願い申し上げます。

特に新型コロナウイルス感染拡大の環境下では、青少年の健康と安全を最優先にプログラムを実施していくことが重要と考えます。

先般のRI理事会にて、青少年交換プログラムを2022年6月末日まで一時中止とするという苦渋の選択がなされました。当地区においてもこの決定を受け、今年度の青少年交換プログラムは派遣・受入とも中止となりました。また、そのほかの委員会のプログラム実施についても流動的となっております。残念ではありますが、コロナが一日も早く終息することを願うとともに、コロナ環境下でも実施可能なプログラムの構築に努めて参りたいと思っております。地区内会員の皆さまのご理解とご協力を賜りたく存じます。

*青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するように努める。ロータリアン、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、および精神的な虐待から彼らの身を守るため、最善を尽くす責任がある(2019年10月理事会会合決定58号)

ローターアクト委員会

委員長 松山 栄(宇都宮東RC)



今までのローターアクトの組織が、2019年の規定審議会に於いてローターアクトクラブとしてR加盟クラブとなり、新たなロータリーファミリーの重要な一員となり、2021年7月1日よりローターアクトクラブは、ロータリークラブの下部組織ではなく、共に協働する組織へと変化を遂げました。

そこで、私たちはもう一度原点に戻り、新たな組織となったローターアクトクラブと過去の概念を捨て、未来に向け協働し相互理解の中であゆみを進め、ロータリアンとローターアクターにとって新しいステップを刻む新たな年度のスタートとなります。

当委員会は、唯一地区ローターアクト委員長(ロータリアン)と、地区内のローターアクトクラブにより選出された地区ローターアクト代表(ローターアクター)が、この委員会の共同委員長を務める2名委員長制での運営となります。

ローターアクトクラブとは、「社会奉仕と国際奉仕を通じて行動し、リーダーシップのスキルを学び、自己の能力開発に参加する満18歳以上の若い成人の地域社会または大学を基盤とする団体」で、地区内には活動中のアクトクラブとして、足利東RAC(地域社会型)・宇都宮東RAC(地域社会型)・作新学院大学RAC(大学基盤型)の3クラブがあります。

北関東3県の比較でも茨城地区は8クラブ・群馬地区も8クラブあり当地区は非常に低迷しております。そこで、地区内10グループで各グループ最低1アクトクラブの新規設立に向けての委員会活動こそ、これからの協働(パートナーシップ)となりますので、地区内ロータリークラブの皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

アクトクラブは、提唱ロータリークラブとの親睦と奉仕を通じ、企画力とリーダーシップを磨くことを学び、将来の地域社会のリーダーとなるべき人々を育成することにあります。

【各ローターアクトクラブの主な活動】◇ローターアクト会員は、月2回の例会に参加する。◇二大奉仕(社会奉仕と国際奉仕)プロジェクトの実行。◇地区ローターアクトクラブ年次大会の開催。◇ローターアクト研修会への参加。◇募金活動の実施。◇ロータリークラブ地区大会への参加。◇インターアクトクラブとの交流。

最後に、私たちロータリアンは、ローターアクトを理解し、公平なパートナーとして認識し、そして協力することが重要で、提唱クラブの指導と支援があり、アクトクラブの活動ができます。



新規ローターアクトクラブ設立への協力は惜しみませんので、どしどしご意見・ご要望等ありましたら、お寄せください。

地区クラブ会長・幹事紹介 (第1G～第4G)

第1グループ

大田原		黒磯		西那須野		黒羽		大田原中央	
									
【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】
田平 隆司	小西久美子	荒牧 明二	安藤 譲治	渡邊 将宏	太田 仁	吉成 慶司	丹野 洋	植木 盛雄	富塚 保

第2グループ

烏山		氏家		矢板		馬頭小川		高根沢	
									
【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】
萩原 宣子	福田 長弘	永井 孝叔	大古 秀子	千野根友和	石井 侑男	薄井 健博	高野 譲司	鈴木 章夫	澤畑 宏之

第3グループA

宇都宮		宇都宮西		宇都宮北		宇都宮90		宇都宮陽北	
									
【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】
阿部 欣文	金子 昌郎	黒須 祐作	濱田 隆也	中村 雄三	白井 将資	鈴木 義忠	林 紀尚	田中 豊治	杉本 勝

第3グループB

宇都宮東		宇都宮南		宇都宮陽東		宇都宮陽南		宇都宮さつき	
									
【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】
倉井 章	渡邊 和裕	関口 隆	佐々木 隆	長谷川 晃	広瀬 孝次	江口 亜子	小田総一郎	葆東 雅仁	亀井光一郎

第4グループ

真岡		益子		真岡西		しもつけ	
							
【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】	【クラブ会長】	【幹事】
齊藤 敏彦	渡邊 佳寛	関口 勝義	山田 裕治	山口久一郎	鴨田 修	山本 郁夫	栗田 敏幸

地区クラブ会長・幹事紹介 (第5G～第9G)

第5グループ

小山		小山南		小山東		小山西		小山中央	
									
【クラブ会長】 舘野 敏	【幹事】 後藤 之江	【クラブ会長】 神山 宜久	【幹事】 尾崎 弘明	【クラブ会長】 石川 雅也	【幹事】 嶋田 政利	【クラブ会長】 福地 博行	【幹事】 板橋 智	【クラブ会長】 阿久津治久	【幹事】 慶野 保夫

第6グループ

栃木		栃木西		岩舟		壬生		栃木南	
									
【クラブ会長】 嶋田 完治	【幹事】 大澤 光司	【クラブ会長】 早乙女雅彦	【幹事】 神澤 彰	【クラブ会長】 安藤 宣好	【幹事】 新井 正人	【クラブ会長】 高山 英城	【幹事】 中山 健	【クラブ会長】 神山美恵子	【幹事】 渡部 康男

第7グループ

日光		鹿沼		今市		鹿沼東		鹿沼中央	
									
【クラブ会長】 三ツ山一明	【幹事】 赤間 郁雄	【クラブ会長】 倉松 俊弘	【幹事】 加藤 昌彦	【クラブ会長】 小柳 洋	【幹事】 大橋東四郎	【クラブ会長】 鈴木 和也	【幹事】 篠原 尉浩	【クラブ会長】 石川さやか	【幹事】 留目 学

第7グループ

第8グループ

今市きぬ		足利		足利東		足利西		足利わたらせ	
									
【クラブ会長】 金子 博明	【幹事】 福田 康	【クラブ会長】 五十嵐稔也	【幹事】 茂呂 宗男	【クラブ会長】 小座野清博	【幹事】 島田 将行	【クラブ会長】 長竹 一郎	【幹事】 荻野 純三	【クラブ会長】 泉 博康	【幹事】 倉林 宏

第9グループ

佐野		葛生		田沼		佐野東	
							
【クラブ会長】 戸叶 覚	【幹事】 安藤 知彦	【クラブ会長】 中野 勇夫	【幹事】 関塚 保雄	【クラブ会長】 井上 智史	【幹事】 納富慎太郎	【クラブ会長】 小林 伸司	【幹事】 栗崎 卓二

ローターアクトクラブ会長・幹事紹介

ローターアクトクラブ

宇都宮東		足利東		作新学院大学		蔵の街とちぎ	
							
[クラブ会長]	[幹事]	[クラブ会長]	[幹事]	[クラブ会長]	[幹事]	[クラブ会長]	[幹事]
盛合 一功	Theth ChanSothea	相樂 侑加	金田 結衣	篠原 直樹	永田 勝利	関谷 暢	大木溪一郎

2021-2022 地区内主要行事

月	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
7	4	日			宇都宮グランドホテル	ガバナー事務所
7	11	日		Zoom開催		ガバナー事務所
7	18	日		対面+Zoom	ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
7	25	日			栃木グランドホテル	
7	29	木		Zoom開催		地区ローターアクト委員会
8	1	日			ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
8	9	月		Zoom開催		黒磯高等学校IAC
8	24	火			日光カンツリー倶楽部	
8	28~29	土~日			ニューサンピア栃木	地区青少年交換委員会
9	11	土			足利市生涯学習センター	地区ローターアクトクラブ
10	22	金			益子カントリー	ホスト:真岡RC
10	23	土			フォーシーズン 静風	〃
10	24	日			市民"いちご"ホール	〃
11	7	日				地区米山記念奨学会委員会
11	20~22	土~月				
11	27	土				地区米山記念奨学会委員会
11	27	土				地区ローターアクトクラブ
11	27	土			ホテルニューイタヤ	地区ローターアクトクラブ
12	12	日			ホテルニューイタヤ	地区米山記念奨学会委員会
12	12	日			ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
12	19	日				ガバナー事務所

2022年 下記行事につきましては、開催方式は状況に応じて連絡いたします。

	日	曜日	曜日	開催方式	場 所	担 当
1	9~10	日~月				地区米山記念奨学会委員会
2	6	日				ガバナー事務所
2	6	日				ガバナー事務所
2	11	金				地区ローターアクト財団委員会
2	12	土			東武ホテルグランデ	
2	13	日			ホテルニューイタヤ 多氣山不動尊	地区青少年交換委員会
2	19	土				
2	27	日				地区米山記念奨学会委員会
3	13	日				ホスト:宇都宮陽東RC
4	10	日			ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
4	17	日			作新学院大学	ホスト:宇都宮陽東RC
4	24	日				地区米山記念奨学会委員会
6	5	日			ホテルニューイタヤ	地区青少年交換委員会
6	19	日				地区米山記念奨学会委員会

新入会員紹介

入会おめでとうございます

塚越 恒美
佐野RC
2021年4月12日入会
株式会社東京フード
代表取締役

今回入会させて頂きました。塚越と申します。御指導の程宜しくお願い致します。

黄合 茂
氏家RC
2021年4月22日入会
株式会社足利銀行
氏家支店 支店長

微力ですが、地域に貢献できるよう取組んで参ります。よろしくお願い致します。

田嶋 宏章
宇都宮東RC
2021年5月25日入会
株式会社ホテニューイア
代表取締役専務

若輩者ですが御指導、御鞭撻の程どうぞ宜しくお願い致します。

渡辺 純一
宇都宮東RC
2021年5月25日入会
株式会社丸山木工
代表取締役社長

中小規模の建築を得意としております。お気軽にお声がけ下さい。

郡司 公生
宇都宮東RC
2021年5月25日入会
株式会社アベックス
代表取締役

奉仕の理念を肝に命じ一杯取り組んで参りますので、宜しくお願い致します。

菊池 信寿
宇都宮東RC
2021年5月25日入会
株式会社アイシーエス
取締役社長

ITと飲食業の牛角を経営しております。ご指導よろしくお願い致します。

人見 和浩
宇都宮RC
2021年5月31日入会
SMBCH証券株式会社
宇都宮支店 支店長

地域のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願い致します。

川崎 健郎
宇都宮RC
2021年5月31日入会
野村証券株式会社
宇都宮支店 支店長

地域に貢献できるように頑張りたいと思います。

川久保憲司
田沼RC
2021年6月17日入会
山越建設株式会社
代表取締役

皆様のご指導の下、地域貢献に努めて参りますので、宜しくお願い致します。

西村 交平
鹿沼RC
2021年6月24日入会
有限会社西村材木店
代表取締役

どうぞよろしくお願い致します。

石川 重明
鹿沼RC
2021年6月24日入会
石川環境緑化株式会社
代表取締役

皆様にご迷惑をかけぬよう努力いたしますのでよろしくお願い致します。

穴山 一則
佐野RC
2021年6月28日入会
株式会社足利銀行
佐野支店 支店長

佐野ロータリークラブ発展のために頑張りますのでよろしくお願い致します。

田村 義弘
栃木西RC
2021年6月29日入会
有限会社田村自動車
整備工場 代表取締役

よろしくお願い致します。

市本 和久
栃木南RC
2021年7月1日入会
株式会社関東エコ
リサイクル 代表取締役

よろしくお願い致します。

針ヶ谷彰宏
日光RC
2021年7月1日入会
株式会社足利銀行
日光・足尾支店 支店長

微力ですが奉仕の精神で地域に貢献して参ります。宜しくお願い致します。

佐藤 一彦
氏家RC
2021年7月1日入会
株式会社栃木銀行
氏家支店 支店長

地域貢献に努めて参ります。よろしくお願い致します。

小栗 卓
今市RC
2021年7月7日入会
株式会社成文社
代表取締役

持続可能な世界と地域社会の創造に向け、ロータリー活動に励んでまいります。

駒場 幸雄
大田原RC
2021年7月8日入会
株式会社栃木銀行
大田原支店 支店長

奉仕の理念を胸に、社会奉仕に取り組んで参ります。

山田 実
佐野RC
2020年7月27日入会
さの総合法律事務所
代表

佐野ロータリークラブに入会致しました。よろしくお願い致します。

6月会員数報告

	クラブ名	例会数	会員数									
			7月	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満	
第1グループ	大田原	3	29	29	0	1	2	2	0	1	0	
	黒磯	4	36	37	0	0	1	0	1	2	1	
	西那須野	2	50	47	0	1	3	6	-3	2	0	
	黒羽	4	7	7	0	0	0	0	0	0	0	
	大田原中央	3	25	24	0	0	0	1	-1	1	3	
第2グループ	烏山	3	18	18	0	0	2	2	0	1	0	
	氏家	4	25	24	0	0	1	2	-1	2	0	
	矢板	5	12	12	0	0	0	0	0	1	0	
	馬頭小川	4	20	20	0	0	1	1	0	0	0	
第3グループA	高根沢	1	16	15	0	0	0	1	-1	0	0	
	宇都宮	5	106	101	0	3	9	14	-5	2	2	
	宇都宮西	4	75	75	1	3	4	4	0	0	0	
	宇都宮北	4	43	42	0	1	3	4	-1	0	0	
	宇都宮90 (宇都宮90結・衛星)	2	5	6	0	0	1	0	1	4	2	
第3グループB	宇都宮陽北	4	40	46	0	1	8	2	6	9	8	
	宇都宮東	4	121	112	0	5	5	14	-9	0	3	
	宇都宮南	5	54	54	2	1	4	4	0	5	0	
	宇都宮陽東	3	54	49	0	3	0	5	-5	8	1	
	宇都宮陽南	4	27	24	0	1	0	3	-3	7	4	
第4グループ	宇都宮さつき	3	25	25	0	0	0	0	0	4	4	
	真岡	2	57	57	2	2	2	2	0	0	2	
	益子	3	30	28	0	3	1	3	-2	2	1	
	真岡	2	36	34	0	2	0	2	-2	5	0	
	しもつけ	5	22	21	0	0	1	2	-1	5	1	

	クラブ名	例会数	会員数									
			7月	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性	40歳未満	
第5グループ	小山	3	22	21	0	1	1	2	-1	1	0	
	小山南	4	15	15	0	0	0	0	0	2	0	
	小山東	3	22	21	0	1	0	1	-1	0	0	
	小山北	4	23	24	0	2	3	2	1	0	4	
	小山中	4	23	24	0	0	2	1	1	2	0	
第6グループ	栃木	3	45	48	0	0	3	0	3	4	0	
	栃木西	4	30	34	1	0	4	0	4	1	0	
	岩舟	2	11	11	0	0	0	0	0	0	0	
	壬生	5	19	18	0	2	1	2	-1	2	0	
	栃木南	4	36	37	0	0	1	0	1	6	1	
第7グループ	日光	4	21	20	0	1	0	1	-1	4	0	
	鹿沼	4	61	63	2	1	3	1	2	2	4	
	今市	4	43	41	0	2	3	5	-2	1	0	
	鹿沼東	4	38	37	0	0	4	5	-1	5	0	
	鹿沼中央	2	17	17	0	0	1	1	0	2	0	
第8グループ	今市きぬ	4	26	27	0	1	2	1	1	0	0	
	足利	2	26	21	0	2	1	6	-5	0	1	
	足利東	4	41	34	0	4	2	9	-7	4	0	
	足利西	2	11	11	0	0	0	0	0	1	0	
	足利わたらせ	2	34	34	0	0	1	1	0	0	0	
第9グループ	佐野	2	56	57	1	0	3	2	1	0	0	
	葛生	5	39	39	0	0	0	0	0	0	0	
	田沼	2	43	43	1	0	2	2	0	0	0	
	佐野東	2	21	21	0	0	0	0	0	0	0	
	48RC		1703	1671	10	44	86	118	-32	104	43	

(欠席した例会のメイクアップを同じ年度内に行う事ができるようになった為、地区では各クラブごとの出席率は掲載いたしません。)

2021-22年度ロータリー賞への挑戦

2021-22年度、「RI会長賞受賞への挑戦の推奨」を地区目標9で設定しました。

今年度ロータリー賞の達成を目指す又は来年度以降の達成を目指す場合も含め、各クラブにおいて何らかの検討をされることを推奨しました。

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります。

- ・ロータリークラブ・セントラルを開く
- ・25の目標に目を通す
- ・その中から13の目標(または全項目の51%以上)を選ぶ
- ・選んだ目標を達成する
- ・ロータリークラブ・セントラルで達成を報告する

ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「目標設定・確認センター」をクリックし、年度を選び「すべて」をクリックしてください。

2021-2022ロータリー年度の目標は次の通りです。

目標	目標の詳細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への出席	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA参加者	本ロータリー年度にクラブが支援するRYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の最新の戦略計画(長期計画)があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料(ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他の公式資料)を使用した回数

地区大会開催のご案内

2021-2022年度 国際ロータリー第2550地区 地区大会開催のご案内

10/22^金

記念ゴルフ大会

会場:益子カントリー倶楽部

10/23^土

会長幹事会/地区指導者育成セミナー

会場:フォーシーズン静風

記念講演 RID2500パストガバナー(釧路RC) 小船井修一様

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

会場:フォーシーズン静風

10/24^日

地区大会 本会議

会場:真岡市民会館大ホール(いちごホール)

記念講演 日本サッカー後援会 理事長 松本育夫様

地区運営委員会報告

2021-22年度第1回地区運営委員会報告

日時 2021年7月11日(日)15時～ オンライン開催 出席者 地区運営委員会委員30名

- 2020-21年度活動報告
(森本敬三直前ガバナー)
 - 5月末現在の会員数について
5月31日現在 1705名(2名増)
内女性会員 108名(2名増)
 - 国際医療福祉大学ローターアクトクラブ終結について
2021年3月31日
 - 蔵の街とちぎローターアクトクラブ認定について
2021年4月25日
 - 栃木県医師会への支援金の件について
 - 会計報告について
 - その他
第2550地区ロータリー平和センター基金について
- 2021-22年度、2022-23年度運営について
(石田順一ガバナー)
 - 地区組織の変更について
 - 地区運営指針の改定について
 - 地区年間主要行事について
- 地区大会に関して
 - 地区大会各種委員会(案)について
 - プログラム(案)について
 - 大会決議(案)について
 - 会長代理エドの件
- 各委員会報告、行事について
 - 職業奉仕委員会(瀬野公男委員長)
 - クラブ奉仕委員会(橋本徳雄委員長)
 - 青少年奉仕委員会(二十二修委員長)
 - 社会奉仕委員会(青山敏朗委員長)
 - 国際奉仕委員会(川嶋健市委員長)
 - ロータリー財団委員会(森本敬三委員長)
 - 米山記念奨学会委員会(代理 田島良久選考委員長)
 - 公共イメージ委員会(田原聖委員長)
 - ソーシャルメディア並びにIT推進委員会(武田文夫委員長)
 - ローターアクト委員会(松山栄委員長)
- その他
 - ガバナー事務所について
新事務所 宇都宮市宿郷5-21-15 ベルヴィ宇都宮内
【報告 地区幹事 金子正男】

ロータリーの「多様性、公平さ、インクルージョン(包摂)の声明」をRI理事会が検討・強化を採択

RI理事会は6月の会合にて、DEIタスクフォースからの指針に基づき、ロータリーが採択した2019年のDEI(多様性、公平さ、インクルージョン)声明の見直しと強化を行い、ロータリーが組織として多様性、公平さ、インクルージョン(包摂)の原則を尊重し、実践するためのさらなるステップを取りました。その結果として新たな「多様性・公平さ・インクルージョン(包摂)へのコミットメント」が下記の通り採択されました:

1 「ロータリーで私たちは、持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界というビジョンの実現には、多様性があり、公平で、インクルーシブ(包摂的)な文化を培うことが不可欠であると理解しています。

2 私たちは多様性を重んじ、すべての背景、年齢、民族、人種、肌の色、障害、学習スタイル、宗教、信条、社会的経済的立場、文化、婚姻状況、使用言語、性別、性的指向、ジェンダー自認だけでなく、異なるアイデア、考え、価値観、信念を持つ人びとによる貢献を大切にします。

3 ロータリーへの入会、参加、リーダーシップの機会といった面で、歴史的に特定のグループの人びとが障壁に直面していたという点を認識し、すべての人が成功のためのリソース、機会、ネットワーク、支援への必要なアクセスを得られるよう、地域社会でのパートナーシップも含め、ロータリーのあらゆる側面で公平さを促進していくことに私たちは全力を注ぎます。

4 私たちは、すべての人が目に見える、または目に見えない本質的に独自の資質を備えていると信じています。また、自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属

意識を持てるようなインクルーシブな文化を築くことに尽力します。

5 高潔性というロータリーの価値観に従い、DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)にいたる旅路において組織として自分たちがどこにいるのかを正直かつ透明性をもって見据えるとともに、これからも学び、向上し続けていくことに全力を尽くします。」

理事会は、2020年に「多様性・公平さ・インクルージョン(DEI)タスクフォース」を招集し、ロータリーにおけるDEIの現状を調査して達成可能・測定可能な意義ある結果をもたらす包括的な行動計画を作成する任務を与えました。この計画は現在作成中であり、2021年10月に理事会に提示されます。

また、理事会は以下の点にも同意しました:

次期・現・元RI役員にDEI研修を提供する

ロータリー行動規範を推進する

行動規範に対する違反を報告する手続きを設ける

上記の決定およびDEIに関する継続的な取り組みに関するこのほかの情報は、今後数週間以内にrotary.org/deiに掲載される予定です。

理事会はこの1年間、ロータリーでの体験をより公平で、開放的で、歓迎的なものとするために取り組んできたタスクフォースに感謝の意を表しています。タスクフォースによる取り組みは、ロータリーの長期的な成功にとって極めて重要となります。DEIタスクフォースによる取り組みは、理事会によって2023年6月まで延長されました。ロータリーのDEI声明に違反する言動を目にしたり、体験したりした方は、DEI.Inquiries@rotary.orgまでご連絡ください。

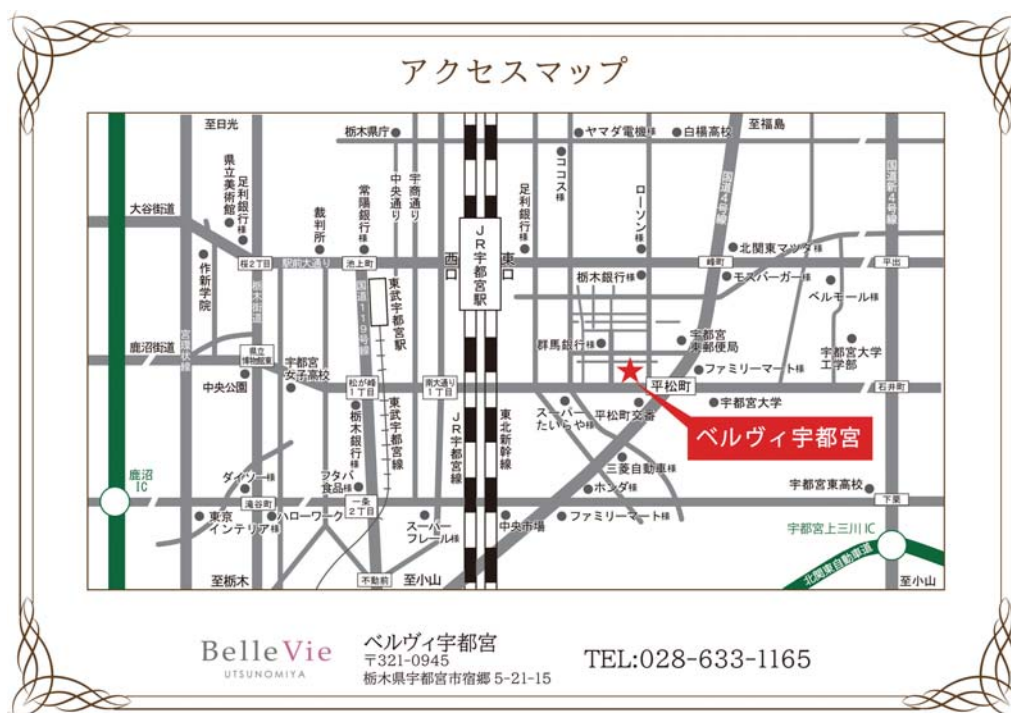
23-Jun-2021

<ガバナー事務所>移転のお知らせ

移転先 〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15 ベルヴィ宇都宮内1F
移転日 8月1日
尚、電話番号、FAX番号、メールアドレスは変更ありません。

<宇都宮北RC、宇都宮陽東RC>の例会場、 クラブ事務所変更のお知らせ

新例会場、新クラブ事務所
〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15 ベルヴィ宇都宮内
TEL.028-633-1165 FAX.028-633-2186
変更日 8月1日
尚、例会曜日・時間は変更ありません。



国際ロータリー第2550地区 ガバナー事務所

〒321-0945 宇都宮市宿郷5-21-15
ベルヴィ宇都宮内1F

TEL:028-651-2550 FAX:028-651-2551

e-mail : m2550@agate.plala.or.jp URL : <http://www.rid2550.com/>